

2020年11月6日

各 位

アートスパークホールディングス株式会社  
代表取締役社長 野崎 慎也  
(コード番号：3663 東証第2部)  
問合せ先：取締役 伊藤 賢  
電話番号：03-6820-9590

## 2020年12月期通期連結業績予想の修正、債務免除による特別利益の計上、特別損失の計上及び子会社の異動（連結子会社の孫会社化）に関するお知らせ

2020年2月14日に公表いたしました2020年12月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しました。また、2020年12月期に特別損益を計上する見込みとなったこと及び子会社の異動（連結子会社の孫会社化）についてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2020年12月期 通期連結業績予想の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,826	304	271	256	31.39
今回修正予想(B)	6,287	561	535	△761	△93.33
増減額(B-A)	461	257	264	△1,017	
増減率	7.9%	84.5%	97.4%	—	
(参考)前期実績 (2019年12月期)	5,381	241	230	241	31.42

※2019年12月期期末の発行済株式総数にて算出しております。

#### 2. 修正の理由

売上高につきましては、現在、自動車業界向けの取引が主となるUIUX事業においては、需要の低迷や生産台数の減少により厳しい状況となるものの、クリエイターサポート事業においては、当社子会社株式会社セルシスが提供する、デジタル技術でコンテンツの制作から閲覧までを支援する製品・ソリューションへの需要が高く、国内・海外双方とも販売が好調に推移しております。この結果、グループ全体としては6,287百万円と、当初予想より上振れる見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましては、クリエイターサポート事業の売上が好調に推移する中、「CLIP STUDIO PAINT」のサブスクリプションモデルの課金システム等、収益性の高い売上が計上されたことにより、Candera GmbHののれん等の償却費約368百万円を含め、営業利益は561百万円、経常利益につきましては535百万円の見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、後述の特別損失の計上及び税金費用等により、△761百万円となる見込みであります。

### 3. 特別利益の計上

#### 債務免除による債務免除益（個別）

2020年12月期において、当社の連結子会社である株式会社セルシスからの長期借入金2,100百万円、当社の連結子会社である株式会社エイチアイからの長期借入金1,000百万円に対する、合計金額3,100百万円を債務免除益として計上いたします。

#### ① 金融支援を受けるに至った経緯

当社グループでは、現在、外部金融機関からの借入を一切行わず、子会社間の資金調整を親会社である当社が実施しております。当社は、純粋持株会社として子会社の経営管理業務等を収益としており、収益は全て内部取引で外部からの収益計上はございません。

この度、中期経営計画策定にあたり、グループ内での内部取引を削減するとともに、グループ各社の個別貸借対照表をスリム化するため、グループ内で資金的余裕のある、株式会社セルシスと株式会社エイチアイからの長期借入金を2020年12月期に全額免除を受けるものであります。

なお、本件債務免除による連結業績に与える影響は無く、連結貸借対照表及び連結損益計算書への良化及び悪化ということはありません。

#### ② 負債総額

3,274百万円（個別）

#### ③ 金融支援の概要

借入先	免除を受ける債務の内容	債務免除額（百万円）
株式会社セルシス	長期借入金	2,100
株式会社エイチアイ	長期借入金	1,000

### 4. 特別損失の計上

#### ① のれんの減損（連結）

当社連結子会社であるオーストリアの現地法人Candera GmbHにつきまして、当社グループでは、自動車業界における新車向けの車載情報システムの強化等によってUI/UX事業の成長を見込んでおりましたが、新型コロナウイルス感染症の同業界への影響を勘案し、同社に対して認識していたのれんの一部について、第3四半期決算において1,065百万円の減損損失を計上することといたしました。

#### ② 関係会社株式評価損（個別）

2020年12月期において、上記「3.」に記載の債務免除等による株式会社エイチアイの財政状態を、また、上記「4.」の「①」に記載ののれんの減損損失の計上に伴いCandera GmbHの財政状態を、それぞれ勘案した結果、関係会社株式評価損として3,107百万円を計上いたします。

なお、この関係会社株式評価損が、連結業績に与える影響はございません。

### 5. 配当予想について

2020年12月期の期末配当金につきましては、本件ののれんの減損の計上が一過性の特別損失であるため、2020年2月14日に公表した1株当たり7円の予定から修正を行っておりません。

### 6. 子会社の異動

#### (1) 孫会社の異動

UI/UX事業においては、2019年1月に子会社化いたしましたCandera GmbHの日本及びアジア地区における営業、開発及びサポートを目的として、2019年6月に子会社株式会社カンデラジャパンを設立しており、オーストリア現地法人Candera GmbHと株式会社カンデラジャパンは現在、自社開発IPである

「CGI Studio」を中心に展開を図っております。

このたび、国内UI/UX事業を集約することを目的として、当社が保有する株式会社エイチアイの全株式について、「CGI Studio」を中心に同事業を展開する株式会社カンデラジャパンへ株式譲渡することといたしました。

(2) 異動する子会社の概要

①子会社から孫会社とする会社の概要

(1) 名 称	株式会社エイチアイ			
(2) 所 在 地	東京都新宿区西新宿4丁目15番7号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 佐々木 竜生			
(4) 事 業 内 容	IT及びソフトウェアサービス			
(5) 資 本 金	350,000千円			
(6) 設 立 年 月	1989年4月			
(7) 大株主及び持株比率	アートスパークホールディングス株式会社 100.0%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社の連結子会社であります		
	人的関係	当該会社の役員の兼務1名		
	取引関係	当社への経営管理業務の委託		
	関連当事者への該当状況	当社の連結子会社であり、関連当事者に該当します		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期
純 資 産		1,401百万円	1,401百万円	1,383百万円
総 資 産		1,835百万円	1,662百万円	1,938百万円
売 上 高		1,290百万円	885百万円	855百万円
経 常 利 益		47百万円	△76百万円	△120百万円
当 期 純 利 益		45百万円	0百万円	△17百万円

②株式譲渡先の概要

(1) 名 称	株式会社カンデラジャパン		
(2) 所 在 地	東京都新宿区西新宿4丁目15番7号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 ラインハルト・フューリヒト、池田 真樹		
(4) 事 業 内 容	IT及びソフトウェアサービス		
(5) 資 本 金	10,000千円		
(6) 設 立 年 月	2019年6月		
(7) 大株主及び持株比率	アートスパークホールディングス株式会社 100%		

(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社の連結子会社であります		
	人的関係	当該会社の役員の兼務3名		
	取引関係	当社への経営管理業務の委託		
	関連当事者への該当状況	当社の連結子会社であり、関連当事者に該当します		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期
	純資産			△125百万円
	総資産			447百万円
	売上高			132百万円
	経常利益			△178百万円
	当期純利益			△135百万円

③譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	30,974株 (議決権所有割合 100.0%)
(2) 譲渡株式数	30,974株 (議決権の数 30,974個)
(3) 異動後の所有株式数	0株 (議決権所有割合 0%)
(4) 譲渡価額	107,417,832円

(3) 日程

(1) 取締役会決議日	2020年11月6日
(2) 株式譲渡契約締結日	2020年11月6日
(3) 株式譲渡実行日	2020年11月6日

(4) 今後の見通し

エイチアイは、本件株式譲渡により、カンデラジャパンの連結子会社ならびに当社の連結孫会社となり、引き続き当社の連結の範囲に含まれます。そのため、本件株式譲渡が業績に与える影響はございません。

以上